

ワールド・カフェとは何か

牧瀬 稔

●ワールド・カフェについて

- ✧ ワールド・カフェとは、「カフェ」にいるような、リラックスした雰囲気の中、①参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に意見交換を行い、②ときどき他のテーブルとメンバーをシャッフルしながら話し合いを発展させていく手法です。参加者は、ずっと一つのテーブルに留まりません。適宜、移動します。
- ✧ 同手法により、参加者の相互理解を深め、**集合知**を創出していくことができます。集合知とは「多くの人の知識が蓄積したもの。また、その膨大な知識を分析したり体系化したりして、活用できる形にまとめたもの」という意味があります。
- ✧ ワールド・カフェは、**解答をだすことが求められていません**。明快な解答がでない状態で終了しても、構いません（もちろん、解答をだしても構いません）。

●今回のワールド・カフェの進め方

- ✧ ワールド・カフェは様々な進め方があります。今回のワールド・カフェは、**意見交換（ラウンド）を4回行います。その中で、最後に発表を実施します**。
- ✧ 今回の意見交換のテーマは「**市に届け！わたしたちの意見の伝え方ワークショップ**」です。茅ヶ崎市に限らず、多くの地方自治体で「市民参加」に関して検討しています（悩んでいます）。今回は、実際に市民参加していただき、今後の市民参加を考えます。
- ✧ 各テーブルには、司会進行役として「**テーブル・ホスト**」がいます。**テーブル・ホストは、席替えの時は移動しません**。今回は、テーブル・ホストは決まっています。
- ✧ 今回のワールド・カフェは発表の機会もあります。この発表者は、テーブル・ホストにお願いします。
- ✧ 時間内で多くのテーブルから発表をいただきます（すべてのテーブルが発表できないかもしれません）。その後、ファシリテーターを担当する牧瀬が簡単なまとめをします。けど、まとめることが目的ではないので、何もまとまらずに終わるかもしれません。。。
- ✧ 上記でワールド・カフェの概要を紹介しつつも、きっと、よくわからないと思います（すみません）。今回のワールド・カフェは「**習うより慣れろ**」で、実際にやっていただきつつ、その都度、私が説明していきます。

●意見交換の心得

- ① 判断・結論を出さないようにしましょう（**結論・反論の厳禁**）。
- ② 自由奔放（ほんぼう）な考えを歓迎しましょう（**自由奔放の歓迎**）。
- ③ 量を重視しましょう（**質より量の重視**）。
- ④ 一人が多く話さないように時間を決めて話しましょう（**時間の厳守**）。
- ⑤ 最終的には、アイデアを結合し発展させましょう（**結合改善への展開**）。



※時間が長いため、トイレ等は、タイミングをみて途中で抜けてください。ワールド・カフェは解答をだすことが目的ではありません。自由に意見交換してください。

得られた意見は、茅ヶ崎市市民参加条例の検証に生かし、検証の内容に基づき講じようとする措置の検討に反映します。

ワールド・カフェ「市に届け！わたしたちの意見の伝え方ワークショップ」の進め方

★第1ラウンド～わたしたちが思う「市民参加の現状」について

時間：**20分**

内容：

①テーブル・ホストから時計回りで、簡単に自己紹介をお願いします。お一人あたり、最大1分で、お名前とご所属、自己アピールをしてください。

次に②「わたしたちが思う「市民参加の現状」について話し合ってください。茅ヶ崎市の市民参加の現状について思うこと。どのような思いで市民参加に参加したか。なぜ市民参加に参加しないのか、できないのか（真面目な雑談です）。

適宜、付箋に自由に書き込み模造紙に貼ってください（他者に見せることを意識して書く必要はありません）。

各テーブルにテーブル・ホストだけを残して他のメンバーは旅人として別のテーブルに行きます。



★第2ラウンド～どうしたら、わたしたちに「市民参加」が届くか？

時間：**20分**

内容：

①新しい組み合わせになったので、テーブル・ホストを中心に、改めて自己紹介（お名前、ご所属、自己アピールなど）をしてください。

②テーブル・ホストが第1ラウンドで自分のテーブルで話し合った内容について説明します。この間も、随時付箋に書き込んでください。

その後、③旅人は、自分のテーブルで出た内容や知見を紹介しつつ、④今度は市民参加の課題である「市民参加の認知」について、探求します。ご自身の日頃の生活や情報の取得方法などをイメージしながら、「どのような場所や方法であれば、皆さまのもとに市民参加の情報が届くか」について話し合ってください。

各テーブルにテーブル・ホストだけを残して他のメンバーは最初のテーブルに戻ります。



★第3ラウンド～どうしたら、わたしたちは「市民参加」に参加したいと思うか？

時間：**20分**

内容：旅人が元のテーブルに戻ったので、①テーブル・ホストが第2ラウンドで自分のテーブルで話し合った内容について説明します。この間も、付箋に随時、書き込んでください。その後、②旅人は、自分のテーブルで出た内容や知見を紹介しつつ、③今度は「市民意見に対する回答手法や反映状況など、また市民参加したいと思ってもらうために必要な方法」について話し合ってください。具体的な取り組み方法が出てくるとベストです。



発表の方、心の準備をお願いします！

★第4ラウンド～知見をまとめ（集合知）、共有します！

時間：**15分程度**

内容：①得られた知見を発表していただきます（1テーブルあたり**【5】分**をお願いします）。**すべてのテーブルにお願いできないかもしれません。**発表者はテーブル・ホストをお願いします。「こんな意見交換をしました」という感じでOKです。結論を発表するのではなく、簡単に意見交換の内容や過程を発表します（結論に触れても構いません）。時間の関係上、すべてのテーブルから発表できないかもしれません。

発表のあと、②ファシリテーターが中心になり、全体でまとめの作業に入ります。「まとめ」とありますが、何かしらの結論を求めるものではありません。得られた知見を活用するのは茅ヶ崎市をはじめ関係者の役割になります。